

計画期間

令和8年4月1日～
令和13年3月31日

主な取組

高度専門・政策医療の持続的提供、地域医療への支援と貢献
患者の視点に立った医療の提供、県保健医療行政への協力
人口減少・超少子高齢化への対応、業務運営の改善及び効率化

高度専門・政策医療の持続的提供、地域医療への支援と貢献

循環器・呼吸器病センター

- ・**脳卒中、心筋梗塞**等の緊急性の高い患者の救急受入要請に対応
- ・県北地域の**高齢者救急**患者の受入体制を新たに整備
- ・県北地域など医師不足地域への**医師派遣**
- ・地域の医療従事者への**公開研修**の実施

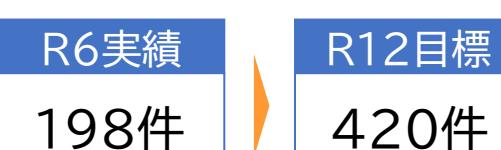
救急車の受入率



がんセンター

- ・先進的ながん**ゲノム医療**を推進
- ・県内でも限られた施設でしか行えない**核医学治療**のほか、通院治療センターでの**化学療法、ロボット支援下手術**などを提供
- ・都道府県がん診療連携拠点病院として、**技術的支援**や患者への**相談支援**を実施

エキスパートパネル 症例検討数



小児医療センター

- ・**周産期**医療や**小児救命救急**医療を提供
- ・**小児がん**医療や**小児移植**医療等、地域医療機関で対応が困難な疾患に対応
- ・地域の拠点病院への**医師派遣**
- ・**特定行為研修**指定研修機関として看護師育成に貢献

超低出生体重児入院数



精神医療センター

- ・**精神科救急**医療や**依存症**治療のほか、専門病棟による**児童思春期**精神医療を提供
- ・精神障害にも対応した**地域包括ケアシステム**の充実のため、病状悪化時の受入れや治療後のスムーズな地域移行を実施
- ・**保健所への協力**や、**精神保健福祉センター**との一体的な運営

依存症プログラムの 年間参加延べ人数



地方独立行政法人埼玉県立病院機構 第2期中期計画(案)の概要

患者の視点に立った医療の提供

- 患者満足度調査の実施及び公表
- 平日以外にも診療日を拡大
- 患者サポートセンター等での治療や生活上の問題等への相談支援
- クリニカルパスの適切な適用
- 医療DXの活用による患者及び家族の利便性の向上
- 医療事故防止のためのインシデント・アクシデント報告の活用

外来患者満足度		
	R6実績	R12目標
循呼	73.1%	85.0%
がん	84.6%	85.0%
小児	87.4%	85.0%
精神	84.3%	85.0%

インシデント・アクシデント報告件数のレベル0割合		
	R6実績	R12目標
循呼	25.3%	40.0%
がん	34.3%	40.0%
小児	49.7%	40.0%
精神	38.2%	40.0%

県保健医療行政への協力

- 埼玉県地域保健医療計画等を踏まえ、県が推進する保健医療行政に積極的に協力
- 感染症法に基づく医療措置協定の締結医療機関として、流行初期の段階から入院対応を行う

人口減少・超少子高齢化への対応

- 人口減少・超少子高齢化に伴う医療ニーズの変化に対応した機能や役割の見直し及び規模の適正化
- AIによる診療文書等の作成支援やRPAによる作業の自動化等、業務効率化を図るため医療DXを活用

業務運営の改善及び効率化

- 前方・後方連携の強化や、診療日拡大による患者獲得
- 診療材料の共同購入、医薬品一括調達等による費用縮減
- 契約の見直し等による経費節減
- 医師事務作業補助者や看護補助作業者へのタスクシフト・シェアの推進による業務効率化
- 認定看護師など専門性向上に寄与する資格等の取得支援、県立病院等での活用

病床利用率		
	R6実績	R12目標
循呼	64.2%	76.0%
がん	72.4%	73.9%
小児	85.1%	83.5%
精神	82.1%	85.1%

経常収支比率		
	R6実績	R12目標
修正医業収支比率	94.9%	調整中
R6実績	75.8%	調整中